

小和田地区 防災“も”まちづくりニュース ～第2回 防災×まちづくりワークショップ～



まちの良いところと課題を探そう！！

小和田地区まちぢから協議会の辻堂駅西口周辺まちづくり部会は、地域住民の皆様の防災意識の啓発及び防災まちづくりに取り組むきっかけ作りとして、茅ヶ崎市と全3回のワークショップをYU-ZUルームで実施しています。

第2回はYU-ZUルームを中心に、「赤松・赤松町コース」と「本宿コース」に分かれてまちあるきを実施しました。班ごとにコースに沿って歩き、ポイントでの説明を聞き、出題されるクイズや体験を通じて、このまちの「良いところ」や災害が起こった際に「問題となるもの」を探しました。各班には地域の方がガイドとして同行し、コースの誘導やポイントでの説明、クイズの出題を行ないました。まちあるき後は、班ごとにまちあるきで見てきたポイントについて整理し、会場全体で発表・共有をしました。



12月22日(日) 第2回 防災×まちづくりワークショップ プログラム

《開会のあいさつ》

小和田地区まちぢから協議会
辻堂駅西口周辺まちづくり部会
小宮 宏文 会長

《まちあるきのすすめ方》

まちあるきの視点を確認

《まちあるき》

赤松探偵団!! 「赤松・赤松町コース」「本宿コース」
～実際にまちを歩き、地域の危険度や地域資源を知ろう～

《まちあるきのまとめ》

まちあるきで見たものを分類しよう

《発表・講評》

参加者からの発表
加藤孝明教授からの講評

《閉会のあいさつ》

赤松自治会
風岡 学 副会長

《開会のあいさつ》

第1回ワークショップでは多くの皆さんに参加していただき、大変好評でした。本日は天気の悪い中、こんなにも多くの皆さんに参加していただき嬉しく思います。今日はまちあるきということで、住所でいうと茅ヶ崎市赤松町を歩いていただきます。このまちの良いところや災害が起こった際に問題となるものを、ぜひ発見していただきたいと思います。「ぼーっと歩いてんじゃないよ」と言われないように(笑)、いろいろなところに注意を払ってみたいと思います。



小和田地区まちぢから協議会
辻堂駅西口周辺まちづくり部会 小宮会長

発行日：令和2年1月26日

発行責任者：小和田地区まちぢから協議会 辻堂駅西口周辺まちづくり部会



M 高い塀

- 背の高いブロック塀
- 大きな地震で倒れる可能性が高い
- 倒れると人がケガをしたり道をふさいでしまう
- 倒れてケガをするかもしれない (1)
- 倒れて車が通れなくなるかもしれない (1)
- 危険なブロック塀 (2)
- 高いブロック塀が危ない (2)

M' 生垣

- 生垣とフェンス
- 地震で倒れる危険性が低い
- まちなみの景観をよくする
- 植物は延焼抑制効果があるとされている
- ケガをしない (1)

N 公務員住宅 (浸透樹)

- 公務員住宅の敷地内に、雨水を一時的にためて、徐々に地面にしみこませるための浸透樹がある
- 増水時の水のはけ口になる (1)
- 大雨のときに貯められる (1)

O まなびの森保育園辻堂

- 2019年に開園した私立認可保育園
- 辻堂駅の開発に伴い、集合住宅が増えたことにより、子育て世代が増え保育園が増加した

P 自動販売機

- 地震で倒れてしまう可能性がある
- 倒れる恐れがある (1)

⑦ 東小和田公園

- 遊具が少なくオープンスペースとなっている
- 市内に9か所しかない100mの水が入る飲料水兼用貯水槽がある。
- 断水時の飲料水を確保できる (2)
- 飲料水兼用の貯水槽があり、飲料水が確保できる (2,4)
- 消火器があったが黄ばんでいた (2)
- トイレが使えないのかわからない (3)
- 植物が多くて燃えやすそう (ア)

Q 公務員住宅と防災機材格納箱

- 昭和58年に建設された公務員住宅。
- 東小和田公園の飲料水兼用貯水槽の器具が格納された倉庫がある
- 空地、オープンスペースが多い (1)
- 空き室に住めるかもしれない (1)
- 防災資機材置き場となっている(1,3)
- 災害時に、敷地内に入れるのか(ア)

L 行き止まり

- 地域の要望により、避難路確保のために階段が設置され抜け道として使用できる
- 火災があってもすぐに避難できるのいい (2)
- 抜け道がある (3)

⑥ 井戸

- 各家庭にかつてあった井戸が残っているお宅
- 断水時に井戸水が使える (1,4)
- 水が出ない人がいたら水をあげられる (2)

K 色褪せた街頭消火器

- 街頭消火器の箱が本来赤色だが、薄くなっている
- 火を消せる (1)
- 古い消火器が見えにくい(4)
- 消火器の色が違う (色褪せている) (2)

⑤ 案内板

- 現在地からの移動方向を伝えやすくするため、利用者から見た方向と地図の向きを合わせている
- どちらに逃げればいいのか教えてくれる(1)
- 案内看板の地図が大きく新しく見やすい (2,4)

④ セルテシティー湘南辻堂

- 14階建てのマンション
- 津波の際の一時避難場所として茅ヶ崎市と協定を結んでいる
- 屋上に避難できる (1)
- 津波一時避難場所がある (4)
- 避難する時、開け方がわからない(ア)

J 市境マンホール

- 市内のマンホールのふたは数種類ある
- 景観に配慮した色付きの物がある

I 丸池

- 昭和22年に作られた丸形の「防火水槽」
- 通称「丸池」 ○赤松町の防災倉庫がある
- 防火用水を利用できる (火災の時に使える) (1,2,3)
- スペースがあるのに使えない! (ア)

H 上り坂

- 小高い砂丘があった名残でゆるやかな坂になっている
- 東に向かって上り坂になっている
- 急斜面のところ危ない (2)
- 崩れてしまうと両サイドの住宅も倒れる可能性がある(2)
- 空き地の土砂が崩れていた (2)
- 砂山。大雨の時の浸水が心配 (ア)

G 不思議な階段

- 住宅街の中に20段ほどの階段がある
- 小高い砂丘があった名残が残っている
- 階段の上と下で2mほどの高低差がある
- 階段の上は海拔15.4m
- 夜暗い (4)

E 海拔プレート

- 街区表示板に海拔 (東京湾の平均海面を基準とした高さ) の数値が示されている
- 平成26年11月に市の南側から、新しく表示されているものになっている
- 海拔12.9mで茅ヶ崎駅周辺よりやや高い
- 町名と海拔〇mを確認できる(4)

C 住宅地の火災被害など

- 戸建て木造住宅が多く、且つ道幅が狭いため延焼火災の危険性が高い
- 住宅が密集している。火事多発(ア)

クイズ

貯水槽の水100mは、1日一人あたり13ℓ使った場合、約2万7千人*で何日分?

①約1日分
②約30日分
③約100日分
答え:①
*2万7千人=(茅ヶ崎市の全人口)÷9か所

ミッション

「井戸」から水を出そう!

クイズ

市販されている地図との違いは?
①水が出る
②動く
③向き(方位)
答え:③

クイズ

何の災害からの一時避難場所となっているか?
①火事(かじ)
②親父(おやじ)
③津波(つなみ)
答え:③

① YU-ZUルーム

- 災害時に使用する毛布や防災バギー、かまどベンチがある
- 駅が近いので災害時に人が多く集まる可能性がある
- 遊べる (1)
- かまどベンチがある (2)
- 火事の時に逃げられるくらいチャレンジパークが広い (一時避難) (1,2)
- パーゴラを災害時に倉庫、トイレ、プライベートスペースとしてつかえる (3)
- いろいろな世代の交流ができる (3)
- 人が集まるのに防災上の位置づけがない (ア)

② 赤松1号緑地

- 街頭消火器、移動式ホース格納箱、防災倉庫がある
- 《移動式ホース》
- 消火栓があるので、移動式ホースで火を消すことができる (1,2)
- 《防災倉庫》
- 車いすで足が動かない人を運べる (1)
- 車いすや備蓄があるので、災害があった時に安心 (2)
- 倉庫のカギはどう管理しているのか (3)

クイズ

倉庫の中に入っている物は?
①えぼし麻呂の着ぐるみ
②車いす
③おもちゃ(任天堂スイッチ、ぬいぐるみ等)
答え:②

ミッション

「移動式ホース格納箱」を使った放水を体験しよう!

B 緑地

- 都市の自然環境の保全などのために設置された。
- 赤松には1～3号の緑地がある
- 災害時に役立ちそう (ア)

③ 四角池

- 通称「四角池」と呼ばれる「防火水槽」
- 放水車のホースをつなげて放水する
- 防火用水として利用できる (火災のときに使える) (1,2,3)

クイズ

何のために水を貯めている?
①飲み水
②火を消すための水
③暑い日に泳ぐためのプール
答え:②

F 空き家

- 住宅街に空き家があり、今後高齢化が進む中で増加する可能性がある
- 悪い人が入るかもしれない (1)
- 火が出るかもしれない (1)

D 交通量の増加

- テラスモール湘南がオープンしたため、赤松通りの渋滞が起こり、抜け道として交通量が増加している
- 土日の交通量が多い(4)

【凡例】

- : まちあるきの概要
- : 良いところ
- : 課題

(数字) : 意見が出た班
(ア) : アンケートで出た意見

その他 徳洲会病院

- 最終避難所、ヘリポートがある (1)

神台公園

- 一時避難場所である (1)

まち全体

- 消火器が多い (2)
- 道路に足のマーク (止まれ) があった (2)
- 公園が多い (市境に県有地/市営の公園がある) (3)
- マンション周辺や公園などのオープンスペースが多い (3)
- 道が広い (3)

- 狭い道路に電柱が多い(災害時に大変)(1)
- 木造の家が密集していて火事の怖さがない(2,3)
- 車が多く通っていた、テラスモールの抜け道になっているかもしれない (2)
- 通行量が多い (2)
- 車で通ると見通しが悪い (2)
- 車がいっぱい通って危ない (2)
- 全体的に消火器の色が分かりにくい (消火器の色褪せ) (3,4)
- 歩きながらの角度だと消火器が見つからない (3)
- T字路が危険 (3)
- ブロック塀が多く倒れると危険 (3,4)
- 全体的に区画整理されていない (4)
- 電柱が傾いている (4)
- 電線蜘蛛の巣状態 (4)
- 全体的に道が狭い (4)
- 砂地なので液状化の可能性もある (4)
- 防災無線の放送が聞こえなかった (台風のとき) (4)
- 市境を越えて避難できる場所が必要 (4)
- 土日の交通量が多い (4)
- マンションの住民と戸建て住宅の住民とで、防災意識に差がある (ア)

他の看板と違う工夫とは？
①話しかけるとしゃべる
②近づくと動く
③屋間に光をためて、夜に光る
答え:③
クイズ

ここは明治天皇が何をした所？
①トイレ休憩
②逆立ち
③パレード
答え:①

⑤ 東小和田交差点
○交差点近くに地域で設置した広域避難看板がある
■夜で暗くても避難場所への案内が見える(6,7,9)
■停電でも消えない信号がある(9)
■看板は知らないと気づかない(6)

K 緊急輸送道路(国道1号)
○県が国道1号を「緊急輸送路」に指定している。
○大規模災害発生直後、円滑かつ確実に緊急輸送を行うために使用される
■緊急時は一般車両が通れない可能性がある(7)
■1号線沿いの電柱が傾いている(8)
■倒れそうなブロック塀(9)

④ 石碑
○石碑に「明治天皇御小休所」と書かれている
○即位して間もない明治天皇がこの場所に立ち寄っている
■基調な地域の資源(ア)
■地震時、倒れる可能性がある(ア)

J (仮称)市営小和田住宅外複合施設(イメージ)
○市営住宅、児童クラブ、地域包括支援センター等を併設する複合施設が建設中
○令和2年11月以降に完成予定

I 赤松歩道橋
○2019年の1月にこの歩道橋の近くで交通事故が発生
○道路を横断するときは歩道橋が横断歩道を利用するよう心掛ける
■歩道橋下の歩道部が狭い(8)

H ゾーン30
○道路に「ゾーン30」と書かれている
○車は時速30km以内で走行することを示している
○赤松町エリアは一部がゾーン30エリア

E 空き家
○住宅街に空き家があり、今後高齢化が進む中で増加する可能性がある
■古い家が今後増えてくる(6)

③ 東小和田公園
貯水タンクの水100m³は、1日一人あたり13ℓ使った場合、約2万7千人*で何日分?
①約1日分
②約30日分
③約100日分
答え:①
*2万7千人=(茅ヶ崎市の全人口)÷9カ所
■公園内に飲料水がたくわえられている(貯水タンク)(6,8,9)
■大きな公園がある(8)
■組み立てに時間がかかる(6)
■倉庫が離れている(公園内に置いたらどうか)(6)
■家庭でも水のストックが必要(7)
■水が足りない可能性がある(1日も持たない)(6,9)

⑥ 赤松通り
○道路に青色の矢印がある
■車の渋滞(ア)
■自転車が歩道を走って危ない(ア)
クイズ
「青い矢印」は何を示してる?
①風が通る所
②自転車が走る所
③動物が歩く所
答え:②

L 街頭消火器
○街頭消火器の箱が本来赤色だが、薄くなっている
■ピンク色になっていて、探しにくい(7)

G 本宿自治会の防災倉庫
○自治会が管理しており災害時に必要となる物資が備えられている
■災害に備えているような準備をしている(8)
■どの倉庫に何が入っているかわからない(9)

F 狭い道
○自転車も通る細い道
○昔の地図では小川になっていた
○小川にはふたがされて道になっているが、道の下には現在も水が流れている
■道が狭くて危ない(9)

② 案内板
○現在地からの移動方向を伝えやすくするため、利用者から見た方向と地図の向きを合わせている
■自分の立ち位置を基準に見やすい(7)
■北が上じゃなくて見やすい(9)
■大事な部分が赤色で書かれていて脱色して読めなかった(7)
■避難MAPがあったがポルトが取れかけていた(7)

M 自転車止まれステッカー
○自転車の一時停止を促す。
○平成25年に小和田小学校の3年生が危険だと感じた場所に設置したステッカー
■小学生が考えて作っている(7)
■剥けて見えなくなっているステッカーがある(ア)
■知らない人がいる(ア)

N 狭い道路に、高い塀
○道路が狭く、高いコンクリートブロック塀がある
○地震によりたおれると人がケガをしたり道路をふさいでしまう可能性がある
■道が狭くて危ない(8,9)
■塀が倒れて道をふさぎ、緊急車両が通れない可能性がある(ア)

P 公務員住宅(西側)
○公務員住宅の敷地内に、雨水を一時的にためて、徐々に地面にしみこませるための浸透枡がある
■浸透枡が大雨時に安心(6)
■大雨の時は水が浸透するかわからない(9)

R 色褪せた街頭消火器
○消火器があるが赤色が薄くなっている
■消火器を塗りなおす必要がある(7)
■消火器の箱や表示板等の赤の塗料を脱色しないものにする(7)
■塗り直したり花模様をつけるのはどうか(7)
■消火器の場所が分かりにくい(8)

市販されている地図との違いは？
①水が出る
②動く
③向き(方位)
答え:③

⑦ 本宿自治会館
○会館の2階には資料室があり、寄付者の名札や旧公民館の看板がある
○災害の備えとしてマンホールトイレを設置
■マンホールトイレがあり災害時に利用できる(6)
■災害に備えているような準備をしている(8)
■自治会館が立地的に安全なのかかわからない(9)

Q 公務員住宅
○昭和58年に建設された公務員住宅
○敷地が広くオープンスペースがある
■避難場所にもなる(6)
■公務員住宅は普段は入れないのに防災に利用できるのか(8)

B 交通量の増加
○テラスモール湘南がオープンしたため、赤松通りの渋滞が起り、抜け道として交通量が増加している
■交通量が多くなったが道が狭く危険(8)

A 住宅地の火災被害など
○戸建て木造住宅が多く、目づ道幅が狭いため延焼火災の危険性が高い
■とりの家の距離が近い、延焼、古い民家が多い(ア)

⑧ 赤松1号線地
○街頭消火器、移動式ホース格納箱、防災倉庫がある
《防災倉庫》
■食料がないので持ち寄りができる(6)
■災害時に備えているような準備をしているところ(8)
■倉庫に食料がない(6)
《街頭消火器》
■1~2分程度しか使えないので、落ち着いて消火する必要がある(7)
《移動式ホース》
■カギの番号は誰に聞けばわかるのか(9)

O 行き止まり路地
○住宅が密集し、狭い道が続いていると思いきや行き止まりの路地
■避難の妨げになる(「この先行き止まり」の看板があるとよい)(6)
■曲がり角が多く行き止まりがある(7,8)
■どのように避難するか(9)
■道が見えない(ア)

① YU-ZUルーム
○災害時に使用する毛布や防災パーゴラ、かまどベンチがある
○駅が近いので災害時に人が多く集まる可能性がある
■かまどベンチや防災パーゴラがある(6)
■パーゴラをお風呂、お産の場所に使える(6)
■停電しても大丈夫(6)
■芝生がある(6)
■雨風があたらない(6)
■多機能に使える(7)
■公園が広場と遊具の所に分かれている(8)
■人が集まるのに防災上の位置づけがない(ア)

C 高い塀
○背の高いブロック塀
○大きな地震で倒れる可能性がある
○倒れると人がケガをしたり道をふさいでしまう
■崩れそうなどは直した方がよい(コンクリートの壁)(6)
■ブロック塀を崩れにくくするべき(7)
■高い塀、ブロック塀が危ない(8,9)

D 防災機材格納箱
○東小和田公園の飲料水兼用貯水タンクの器具が格納された倉庫がある
■ここに倉庫があることを知らなかった(9)

C' フェンス
○地震で倒れても危険性が低い
○ブロック塀に比べ景観が良い
■ブロック塀ではなく軽いフェンス(8)

S 四角池
○通称「四角池」と呼ばれる「防火水槽」
○放水車のホースをつけて放水する

T 緑地
○都市の自然環境の保全などのために設置された。
○赤松には1~3号の緑地がある
■災害時に役立ちそう(ア)

クイズ
倉庫の中に入っている物は?
①えびし麻呂の着ぐるみ
②車いす
③おもちゃ(任天堂スイッチ、ぬいぐるみ等)
答え:②
ミッション
「移動式ホース格納箱」を使った放水を体験しよう!

Start&Goal!

⑧ 赤松1号線地
○街頭消火器、移動式ホース格納箱、防災倉庫がある
《防災倉庫》
■食料がないので持ち寄りができる(6)
■災害時に備えているような準備をしているところ(8)
■倉庫に食料がない(6)
《街頭消火器》
■1~2分程度しか使えないので、落ち着いて消火する必要がある(7)
《移動式ホース》
■カギの番号は誰に聞けばわかるのか(9)

【凡例】
○: まちあるきの概要
□: 良いところ
■: 課題
(数字): 意見が出た班
(ア): アンケートで出た意見

その他 小和田郵便局周辺
■市が設置した避難看板があるが木と同化して見にくい、もっと大きくして良いと思う(7)

まち全体
■消火器が点々とある(6)
■緑が多い(7)
■花壇がきれい(7)
■防災倉庫がまちのあちこちにある(備蓄)(7,8)
■地域で訓練をしている(8)
■古い家と新しい家が混ざっている(多世代)(8)
■防災の看板が多くわかりやすいところ(8)
■狭い道路が多く消防車が入れない(6,8)
■飲み水兼用貯水タンクがもう少し多く必要(7)
■曲がった電柱(8)
■地震で電柱とブロック塀が倒れる(8)
■水没の危険に驚いた(チャレンジパーク北側住宅地)(9)
■マンションの住民と戸建て住宅の住民とで、防災意識に差がある(ア)

D 防災機材格納箱
○東小和田公園の飲料水兼用貯水タンクの器具が格納された倉庫がある
■ここに倉庫があることを知らなかった(9)

C' フェンス
○地震で倒れても危険性が低い
○ブロック塀に比べ景観が良い
■ブロック塀ではなく軽いフェンス(8)

C 高い塀
○背の高いブロック塀
○大きな地震で倒れる可能性がある
○倒れると人がケガをしたり道をふさいでしまう
■崩れそうなどは直した方がよい(コンクリートの壁)(6)
■ブロック塀を崩れにくくするべき(7)
■高い塀、ブロック塀が危ない(8,9)

S 四角池
○通称「四角池」と呼ばれる「防火水槽」
○放水車のホースをつけて放水する

T 緑地
○都市の自然環境の保全などのために設置された。
○赤松には1~3号の緑地がある
■災害時に役立ちそう(ア)

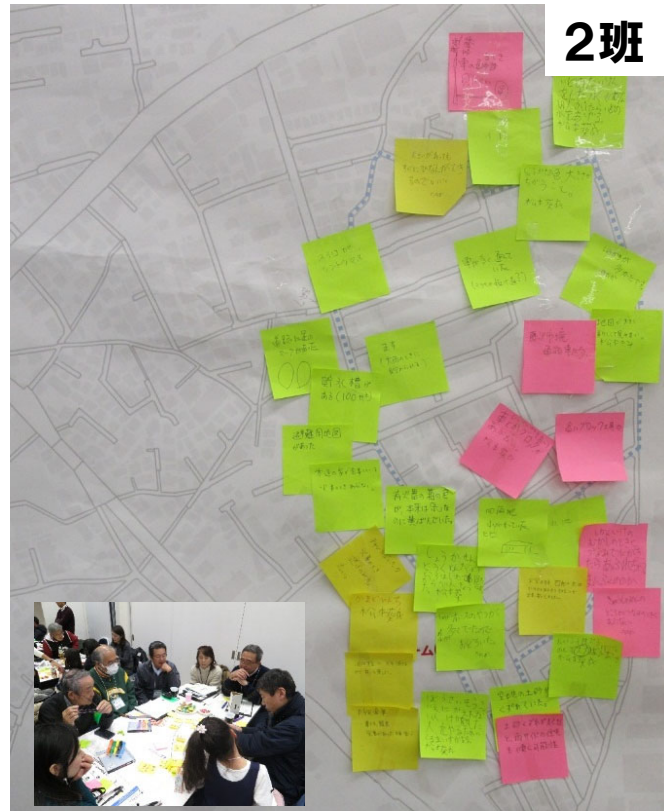
《まちあるきのまとめ》 赤松・赤松町コース 1～4班

《まちあるきのまとめ》 本宿コース 6～9班



1班

- 良いところ**
- ▶ YU-ZUルームは一時避難できる場所である。
 - ▶ 空地・オープンスペースが多い。
- 課題**
- ▶ 狭い道に電柱が多く、災害時に大変。
 - ▶ 空き家に悪い人が入ったり、火が出たりするかもしれない。



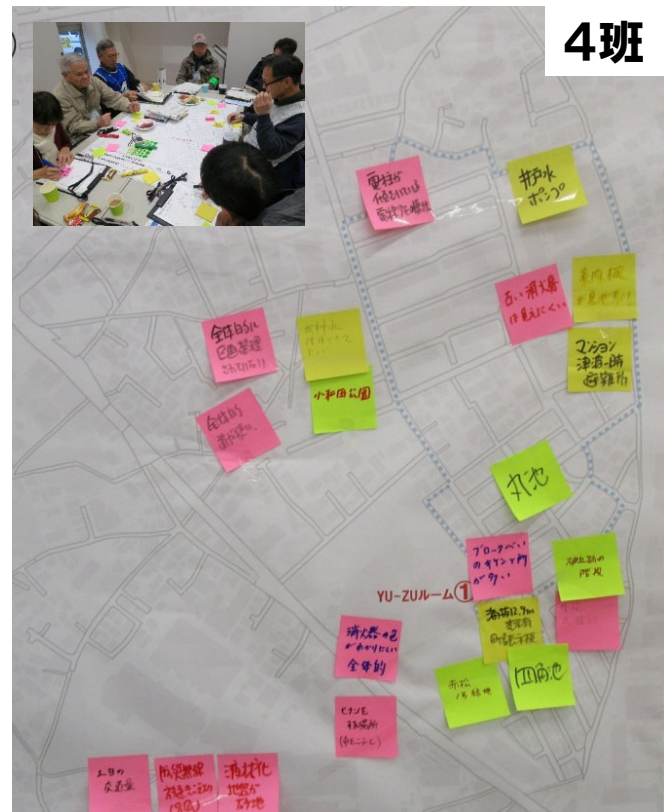
2班

- 良いところ**
- ▶ 消火器がたくさんある。
 - ▶ 井戸は水が出ない人がいたら水をあげられる。
- 課題**
- ▶ 消火器の色が黄ばんでいて目立たない。
 - ▶ 木造の家が密集していて火事の時危ない。



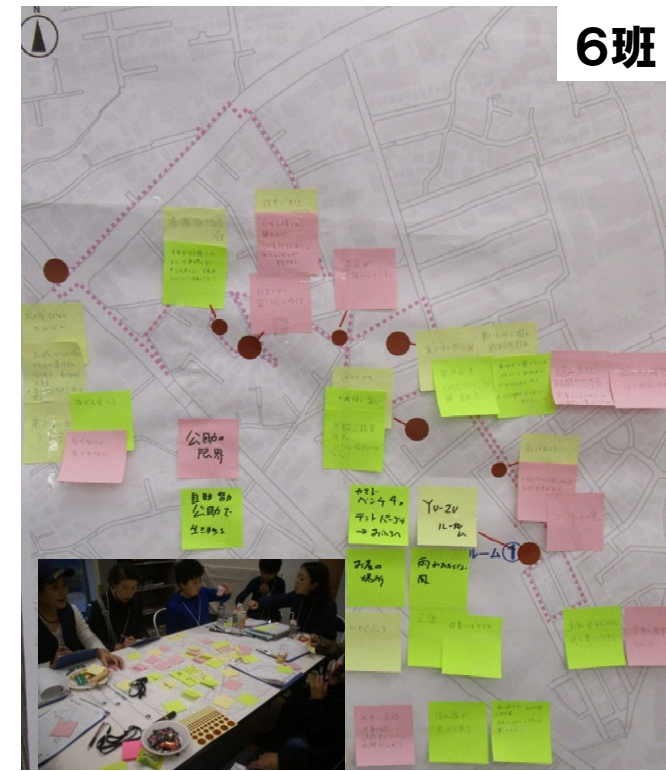
3班

- 良いところ**
- ▶ マンション周辺、公園などオープンスペースが多い。
 - ▶ YU-ZUルームの防災パーゴラは、いろいろな使い方ができる。
- 課題**
- ▶ 歩いている目線から消火器が見つけづらい。
 - ▶ 木造住宅が多く延焼火災が心配。



4班

- 良いところ**
- ▶ 案内板が見やすい。
 - ▶ 地域に津波一時避難場所がある。
- 課題**
- ▶ 市境を越えて避難できる場所が必要。
 - ▶ 電線がぐももの巣状態になっている。



6班

- 良いところ**
- ▶ 消火器が点々とある。
 - ▶ YU-ZUルームに防災パーゴラやかまどベンチがある。
- 課題**
- ▶ 狭い道路が多く消防車が入れない。
 - ▶ 行き止まり路地があり避難の妨げになる。



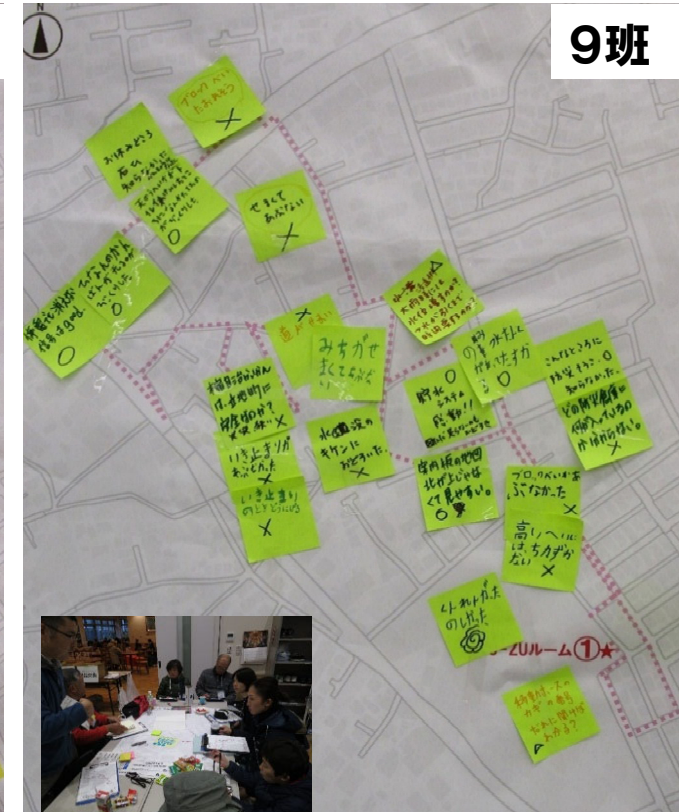
7班

- 良いところ**
- ▶ 緑が多く、花だんがきれい。
 - ▶ 防災倉庫がまちのあちこちにある。
- 課題**
- ▶ 家庭でも水のストックが必要。
 - ▶ 避難看板が街路樹と同化して見にくい場所があった。



8班

- 良いところ**
- ▶ 古い家と新しい家が混ざっており多くの世代が住んでいる。
 - ▶ 災害に備えて地域でいろいろな準備をしている。
- 課題**
- ▶ 道が狭い。
 - ▶ 電柱やブロック塀が地震で倒れるかもしれない。



9班

- 良いところ**
- ▶ 避難先を示す看板が見やすく、夜でも見えるものがあった。
 - ▶ 公園に飲料水兼用貯水システムがある。
- 課題**
- ▶ 移動式ホース格納箱の鍵の番号がわからない。
 - ▶ どの防災倉庫に何が入っているかわからない。

《発表・講評》

各班の発表

- 1班 ▶ 災害にもよるがセルテシティオやテラスモールのような大きな建物があり、避難する場所はたくさんある。
▶ 神台公園に避難できると良い。
- 2班 ▶ 参加した子どもが、大人の目線からは気づかない場所にある消火器をいくつも見つけていた。
▶ 消火器の色が黄ばんでいて目立たないことが気になった。
- 3班 ▶ 見つけた良いところと課題について、まとめることができなかった。
▶ しかし、課題の解決方法を少し検討することができた。
- 4班 ▶ ひびが入っているブロック塀がいくつか見られた。また、傾いている電柱もいくつか見られた。
▶ この地域がもともと砂丘であったことから液状化が心配である。
- 6班 ▶ 雨が降っていたためYU-ZUルームのありがたみを再確認できた。
▶ YU-ZUルームにある防災パーゴラは、お風呂や授乳の場所として利用できると思う。
- 7班 ▶ 消火器の色褪せていた。
▶ また、案内板看板の重要な赤字部分も目立たなくなっていた。
- 8班 ▶ 道が狭いところがあり、その周辺に傾いた電柱や高いブロック塀があることが課題だと思う。
▶ 良いところは比較的大きな公園が近くにあることであると思った。
- 9班 ▶ 本宿自治会館周辺は建物が密集しているので、安全な立地かどうか気になった。
▶ 移動式ホース格納箱のカギのナンバーを知っておく必要がある。



講評

まちあるきをして私が気がついたことは3つです。

- 知っているようで知らないことがたくさんあったと思います。一方で、知らないようで地域のことをよく知っている方がたくさんいることに気がつきました。
- このまちには、たくさんの公共的資源、つまり、みんなで使える資源が多いと思いました。公園や防災倉庫、貯水槽にYU-ZUルームなど、これらの資源にほんの少し工夫をすることで、もっと役に立つ何かになるのではないかと思います。
- まちの中にいろいろな特性を持った地域であることが分かりました。昔からの地域は壊れやすく燃えやすいかもしれませんが、水が止まっても大きな影響は受けないと思います。一方、高層のマンションは火災や倒壊は起こらないかもしれませんが、水が止まるとかなり大変なことになります。それぞれ一長一短がありますが、地域で補いあっていくことが重要だと思います。



東京大学
加藤教授

《閉会のあいさつ》

本日はこの悪天候の中、多くの方々にご参加いただき、主催者グループの一人として、大変感謝しております。

まちあるきは充実した内容になったようで、特に、小さなお子さんがいるグループはかなり活気づいていたように思います。

第3回ワークショップでは、今回参加していただいた皆様に加えて、さらに参加者が増えることで、より活発な議論をできるかと思っています。



赤松自治会
風岡副会長

防災×まちづくりワークショップ 今後の予定

回数	日付	時間	概要
第1回 (終了)	令和元年 11/24(日)	13:30～ 15:30	基調講演 & 体験ブーススタンプラリー 防災“も”まちづくりと大地震時の状況について学ぼう。
第2回 (終了)	令和元年 12/22(日)	13:00～ 15:30	まちあるき「赤松探偵団!!」 赤松町周辺をクイズを解きながら楽しく歩き新たな発見をしよう。
第3回	令和2年 1/26(日)	13:30～ 15:30	おしえるマップ作成 & グループ討議 まちあるきで発見した、まちの良いところと課題をまとめたマップを作成し、課題は解決の方向性を考えてみよう。

〈問合せ先〉 茅ヶ崎市 都市部 都市政策課

電話：0467-82-1111 FAX:0467-57-8377

E-mail：toshiseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp